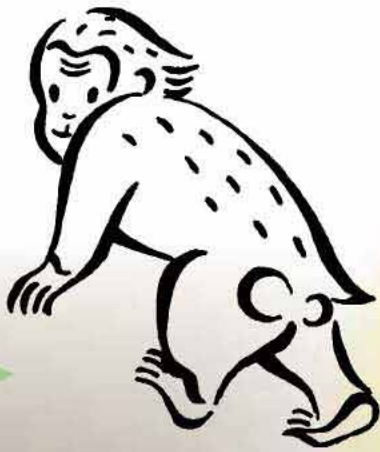


でらう ゴざいます



市民と行政が

協働するまちづくり

ともにつくる

「ふるさと自慢」

！



初年明けましておめでとうございます。

南国市は、県の陸・海・空の広域交通体系の拠点にあると同時に「土佐のまほろば」として豊かな歴史、文化をもち自然環境にも恵まれています。これらを活かした玄関都市としてのまちづくりを引き続き進めてまいります。

空港周辺は、昨春高知大学内に海洋コア総合研究センターが完成し、国際研究拠点として運用され、本年から始まる予定の「空港緑のやよい広場」や市立スポーツセンターとともに学術研究、スポーツ・文化など、国の内外における人の往来が活発な交流拠点になります。また、高知みなみ流通団地への企業誘致も進み、新年早々5社が操業開始の予定で、本県の新産業拠点を目指す取り組みも順調に進んでいます。

市の中心拠点では、都計街路事業高知南国線整備など、その骨格づくりを継続するとともに、「ごめん町まちづくり委員会」が発足し、特産品開発などを通じ地名を活用した町おこしが始まりました。この活動を支援し、ハードソフト両面で拠点整備を推進するとともに、その他、歴史と文化の拠点づくりなど引き続き南国市の活性化を先導する拠点事業を進めてまいります。

これからは、市民と行政が協働するまちづくりが重要になると考えています。本年から地域住民と行政による伝統行事など「ふるさと自慢」づくりを積極的に進めます。さらに、地域おこしに限らず、環境、健康、教育福祉や防災面などでの官と民の連携を進めてまいります。なお、一層のご協力をお願いしますとともに、皆さんのご多幸を祈り、新年のご挨拶といたします。

南国市長 浜田 純

新春



よけよけ

おめでとう

新年明けましておめでとございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えになられたことと、心よりおよろこび申し上げます。

昨年は、災害に強いまちづくりの一環としまして、南海地震など、災害時の避難場所としても活用できる、新消防庁舎が完成しました。市議会におきましては、議員定数の削減と政務調査費の廃止を行いました。今年の春には、県民・市民の念願でもありました、高知龍馬空港の2千500メートル滑走路が供用開始となります。

地方分権が進む中で、地方交付税等の減額が予想されるとともに、デフレ経済情勢により税収の減少も見込まれます。今までと違って、地方自治体の自主性が益々強まり、議会の役割は大きく増大するものと考えております。私たち議員もこうした状況を踏まえながら、図書館開館に向けても頑張る所存であります。

何が必要かの確に判断し、その任務を果たしてまいりたいと思っております。

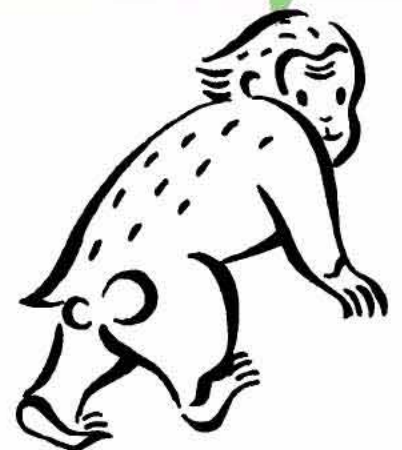
まだまだ、南国市を取り巻く情勢も誠に厳しい状態にあります。議員一丸となって市勢発展のために、市民の皆様とともに歩んでまいりたいと思っております。

市民に開かれた議会として、これからも職責を十分に果たす覚悟でございますので、引き続きご支援、ご厚情を賜りたいと存じます。

この一年が皆様方にとりまして、飛躍・発展の良き年でありますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

南国市議会議長 田島 邦雄

挨拶



大きくなる議会の役割
市民に開かれた議会を

目指して！

